

平成 30 年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに取り組み、全日制普通科の進学校として、共通教科・科目を中心に、教育課程を適切に編成する。</p> <p>②生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、高いレベルでの思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>③学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の他者理解や他者との協働による取組を促進する。</p>	<p>②課題発見及び課題解決の力を身に付けさせる中で高いレベルでの思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>③積極的に学校行事の企画・運営に関わることで生徒の社会性・自主性を育成する。</p>	<p>②授業改善のための年間計画に沿って恒常的に授業改善に取り組むとともに、情報共有を効果的に行って組織的な取組とすることで、目標を達成する。</p> <p>③前年度の振り返りを生かしつつ、各種行事(体育祭・文化祭・文化部発表会・球技大会等)で、生徒の自主的な運営、企画をいっそう促す。行事がスムーズに行われるように、前年度から上級生が活動し、下級生を牽引する体制を定着させる。</p>	<p>②恒常的で組織的な授業改善を通じて目標を達成できたか。(生徒による授業評価、生徒学力調査、担当者評価)</p> <p>③学校行事や生徒会活動の企画・運営に、生徒がより積極的に関わることができたか。(生徒アンケート・担当者評価)</p>
2	生徒指導・支援	<p>①社会規範を守り社会で活躍できる「人づくり」を行う。</p> <p>②部活動を通し、社会性や自主性を涵養する。</p> <p>③生徒一人ひとりの個に応じた相談・支援体制を充実させる。</p>	<p>①指導の目的を明確にし、職員全体で計画的に取組む。</p> <p>②運動部、文化部とともに、高い加入率を維持する。部活動を通してリーダーシップを発揮できる「人づくり」を行う。</p> <p>③ケース会議、教育相談等を活用し、情報共有を図りながら有効な支援を行う。</p>	<p>①規範意識や周囲への配慮の気持ちを涵養するために、頭髪・服装指導、登下校指導や交通安全教室等を定期的に行う。</p> <p>②高い入部率維持のため、学校説明会、新入生歓迎会、部活動体験・仮入部期間をより効果的に実施する。</p> <p>③教育相談・生徒支援組織図に基づき、生徒一人ひとりに寄り添い、生徒理解を深めるための教育相談やケース会議等をより効果的に活用し、組織的に取組んでいく。</p>	<p>①指導や講習会等を年間 3 回以上実施・開催し、改善できたか。(担当者評価)</p> <p>②入部率が 90%以上か。12 月の部員調査で継続性が見られたか。(担当者評価)</p> <p>③教育相談・生徒支援組織図に基づき、組織的に実施できたか。年 2 回の生徒の意識調査等を有効活用し、充実した生徒対応ができたか。(生徒アンケート・担当者評価)</p>

3	進路指導・支援	<p>①「学力向上進学重点校エントリー校」として高いレベルでの人材を育成する。</p> <p>②将来の日本や国際社会でリーダーとなる高い資質・能力を持った人材を育成する。</p> <p>③地域社会で中核となって活躍する人材を育成する。</p>	<p>①②外部資格試験等の内容を精査し、本校生の学力伸長に必要なものを活用する。また、生徒一人ひとりの個性と能力の発見、伸長のため、講習等を実施する。</p> <p>②③キャリア教育実践プログラムを充実させ、より高いレベルでの生徒の進路実現、自己実現を支援する。</p>	<p>①②GTECを1、2年生全員対象に実施する。実用英語技能検定の準会場となり、生徒に受験の機会を提供する。学習者のニーズに合致した内容の夏期講習等を実施する。</p> <p>②③「総合的な学習の時間」だけでなく、様々な教育活動の機会を捉えて、多様な内容のキャリア教育実践プログラムを実施する。</p>	<p>①②5割以上の生徒に英検2級か同程度の力がついたか。講習により生徒の能力が伸びたか。(GTECスコア、生徒アンケート・担当者評価)</p> <p>②③多様な内容のプログラムを実施し、生徒の進路実現、自己実現を支援し、進路実績が向上したか。(生徒アンケート・担当者評価)</p>
4	地域等との協働	<p>①家庭や地域との協働、協力体制を推進し、地域の期待に応える学校づくりを進める。</p> <p>②効果的な情報発信を行う。</p>	<p>①PTA活動や地域の行事への参加形態などを具体的に研究し実践する。</p> <p>②速やかな情報発信の体制を整備する。</p>	<p>①地域行事(防災訓練など)への参加や、保護者と連携した活動を充実させる。</p> <p>②各グループ等と連携し速やかに情報を発信する。</p>	<p>①地域行事への参加や保護者と連携した活動の充実が達成されたか。(担当者評価)</p> <p>②情報発信の速さや内容の充実が図れたか。(担当者評価)</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教職員一人ひとりの危機管理意識を高め、不祥事の根絶を図る。</p> <p>②学校運営組織の円滑かつ有効な運用を図り、常に検証する姿勢を堅持し、尚一層の教育活動の改善、充実を図り、学校力向上に取り組む。</p>	<p>①グループを主体とする不祥事防止研修会の計画的、組織的な実施を通して、教職員の意識の向上を図り、確実な業務を行う。</p> <p>②各取組に対し、常に検証を行い、課題を的確に把握するとともに、改善策に結び付ける。学校関係者の評価を取組に生かす。</p>	<p>①グループを主体とした不祥事防止研修会を7回以上実施するとともに、必要に応じて啓発資料を活用した研修を行う。</p> <p>②新たに設定した保護者対象進路説明会を学年、グループ、PTAが連携して年2回開催する。</p>	<p>①グループを主体とする不祥事防止研修会等を通じて、教職員一人ひとりの意識が向上し、不祥事なく業務が実施できたか。(担当者評価)</p> <p>②各取組に対する検証結果や学校関係者の評価を、取組の改善に結び付けたか。(担当者評価、学校関係者評価)</p>